



よめばやさしくなるしゃきょうのこうほうし

福祉くまの



特集
災害と向き合う

NO.84 令和元年9月5日発行

 熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。



災害と

向き合おう

阪神淡路大震災、東日本大震災、平成30年7月豪雨災害…。大災害は私たちの日常生活を容赦なく襲います。ただ、残念ながら自然現象を人の力で食い止めることはできません。今特集は、災害をどのように捉え、どのように向き合っていくのかを考えます。



災害って？

災害の定義をご存じでしょうか？一般的に異常な自然現象（地震等）など、様々な原因によって生じる「被害」を災害と定義されています。また、人的な被害が出るものを災害といい、大雨で土砂崩れが発生しても、被害や損失を受ける人がない場合は災害とはいえません。



災害はなくせる？

自然現象を人の力で完全に食い止めることはできません。つまり、災害というものを完全になくすことは、現代の科学技術ではできないということなのです。そして地震だけでなく、

近年の自然災害は、私たちの予想を大きく上回っています。例を挙げれば、年々発生率が高まる南海トラフ地震は、過去に例を見ない甚大な被害をもたらす可能性も危惧されています。



減災という考え方

大自然の恩恵を受けながら生活する私たちにとって、自然災害は切り離すことのできない存在です。このことをまずは受け入れなければなりません。そして前向きに捉え、最善の方法を考え、行動する。もちろん災害なんて起こらない方が良いに決まっています。しかし、なくなることはないのです。ではどう考えればよいでしょうか。一つの考えとして「減災」があります。なくならないのであれば、できる限りその被害を最小限に抑えるという

考え方です。いつ起こるかわからない災害も含めて、普段の暮らしの中で準備できることはたくさんあります。一緒に考えましょう。



日頃の備え

備えあれば憂いなし。災害時には、不安やパニック、疲労などから平時の力を発揮することはできません。今から、災害に向けた備えを始めましょう！



きょうのあなたのうんせいは？

くましゃんおみくじ

こちらからどうぞ



① 日常備蓄

食料品や生活用品を備蓄することが重要だと知っていても、いつ起こるかわからない災害に備えるには「管理が難しい」と感じます。ここで少し考え方を換え、食料品や生活用品を少し多めに買っておくようにします。常に多めの状態を保ちながら、古い品から日常生活の中で消費します。消費した分を買い足し、「常に多め」を維持することを心がけます。そうすることで、無理なく備蓄することができず。これは、東京都が推奨する「日常備蓄」という考え方です。

② 自宅環境の整備

地震による自宅内での負傷の半数近くは、家具類の転倒や落下等が原因とされていることから、その対策を講じることが、随分とそのリスクが軽減できることがわかります。家具類の柱などへのネジ止めが基本ですが、難しい場合は突っ張り棒などでも代用できます。また、避難経路の確保も意識した、自宅内のレイアウトの見直しも行ってみましょう。

③ その他

災害発生時における、家族間での連絡方法を取り決めておくことも重要です。安否確認の方法や、集合場所も予め決めておくこと安心です。また、日頃から隣近所とのお付き合いも大切にして、災害発生時には共に協力で

きる関係性を築いておきましょう。

さらにいえば、自分たちが住む地域の避難場所なども事前に確認し、また、地域内で行われる防災訓練へ積極的に参加するなどして、災害に対する意識を常に継続させることも大切です。

バケツリレー!



災害ボランティアセンター



被災後はこれまでの日常を取り戻すために、早期の復興、復旧が必要です。災害ボランティアセンターは、住民の皆さんの復興、復旧へのニーズと、それを支援する災害ボランティアをつなぐ重要な機関であり拠点です。災害ボランティアセンターが設置されないと、住民の皆さんのニーズを吸い上げることがで

きず、また、ボランティアがどこでどのような活動をすればよいかわかりません。

熊野市でも大規模災害時には、熊野市社会福祉協議会が「災害ボランティアセンター」を設置することとなっています。災害ボランティアセンターの存在も知っておいて下さい。

※熊野市社会福祉協議会では災害ボランティア養成等の講座も開催しています。興味のある方は是非ご参加ください。

今からやろう



「明日やろうはバカ野郎」何年か前に放送されたテレビドラマのワンフレーズです。「今やるべきことを先延ばしにしてはいけない」ということなのですが、災害への備えにも同じことが言えます。災害はいつ起こるかわかりませんが、なくなりません。しかし、私たちにできることはたくさんあります。自分のために、大切な人、まちのために、明日からではなく、今からできる準備をはじめましょう。



いろいろあります
イベント用品 **かします**

こちらからどうぞ



みんな
いっしょに
大きくな～れ!

いな



ボランティアセンター
イメージキャラクター
いな

熊野市ボランティアセンター
登録ボランティア数
団体：33 個人：9名
合計：1,662名
令和元年8月31日現在



ちびっ子ボランティア夏のBBQ大会!

おいしい～!!

8月8日(木)、紀宝町にある飛雪の滝キャンプ場にて、バーベキュー大会を開催しました。

食材を準備する係、火を起こす係、お皿を並べる係などそれぞれ役割を分担して準備しました。みんなで食べるバーベキューは格別に美味しかったです♪

デザートは、みんなで「焼きマシュマロ」をしました♪



午後からは3人1チームで部屋の飾り付けなどに使用するフラッグガーランドを作成しました。このフラッグガーランドは、今後開催予定の社協ふれあいミニフェスタ等の、ちびっ子ボランティア模擬店ブースの飾り付けに使用する予定です。

チームで協力して作ったおかげで可愛らしく仕上がりました。

たくさんのお客さんが来てくれますように♪

伝える

募集しています

声のボランティア養成講座

視覚障がいのある方に「福祉くまの」などの広報誌を声にして届ける、「声のボランティア養成講座」を開催します。

声を伝えることに興味のある方はお気軽にご参加ください。

※講座終了後、希望される場合は“声のボランティアグループ”に登録することができます。(現在の活動は、『福祉くまの』の音訳を行っています)

日時 令和元年9月7日(土) 10時～12時

場所 熊野市保健福祉センター 2階多目的ホール

講師 伊勢市ひばり朗読奉仕会 志賀智子先生



熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

住所：熊野市井戸町1150番地
電話：0597-89-5000
FAX：0597-89-3068
担当：西里美

7/22 第2回ふらった～ 金山パイロット農園 / 少年自然の家



障がい者の社会参加を目的として開催する「ふらった～」。今年度第2回目はブルーベリー狩りとバーベキューを楽しみました。



まごぶた〜



こんなことやりました

7/26 生活支援サポーター養成講座 金山多目的集会所



地域における生活支援の担い手(サポーター)確保を目的とするもので、9名の方が受講されました。

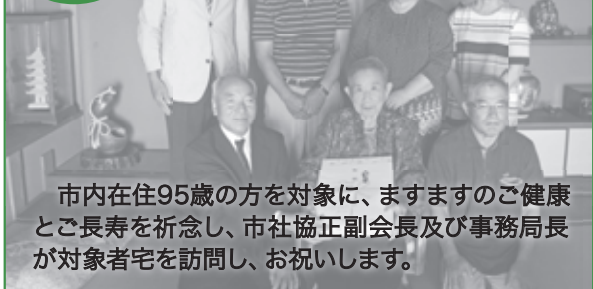
8/22 福祉委員研修会

皇學館大学・板井正斉准教授を講師にお迎えし、市内福祉委員や民生委員等が地域づくりについての考え方を深めました。



9/16

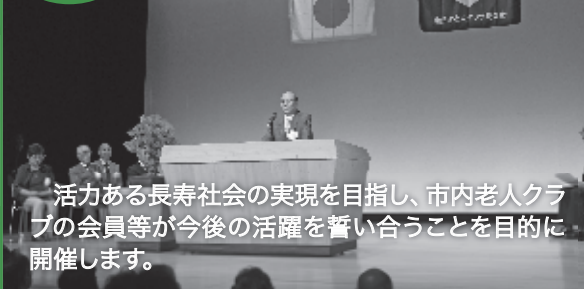
ご長寿祈念事業 市内ご自宅等を訪問



市内在住95歳の方を対象に、ますますのご健康とご長寿を祈念し、市社協正副会長及び事務局長が対象者宅を訪問し、お祝いします。

10/31

熊野市老人福祉大会 13:30～熊野市民会館



活力ある長寿社会の実現を目指し、市内老人クラブの会員等が今後の活躍を誓い合うことを目的に開催します。



やります



まいつき
かわるよ! オープニングアニメ

こちらからどうぞ



おまかせ
ください
無料法律相談所



赤い羽根共同募金運動

- ◆開設日 9月17日(火)
10月15日(火)
- ◆相談員 片山眞洋 弁護士
熊野市保健福祉センター
- ◆会場 熊野市保健福祉センター
1階相談室
- ◆時間 13時から
- ◆相談内容 民事全般(相続、離婚、雇用、他)

※開催日前日の15時までにご予約ください。
※相談は一人15分程度で予約順です。
担当 地域福祉係 西

リサイクル情報

家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、また、「譲って欲しい!」といった品物を登録し、地域でリサイクルする制度です。お互いに譲り合う当制度を是非ご活用下さい。

当制度に関する情報は、熊野市保健福祉センター玄関にある掲示板または、熊野市社会福祉協議会ホームページ(熊野市社協で検索 リサイクルのページ)でご覧ください。



担当 地域福祉係 榎本

☆ **今年の募金目標額 2,472,600 円** ☆

- ◆募金の使いみち(令和2年度充当)
熊野市社会福祉協議会
 - ・地域支援事業
 - ・社協ふれあいフェスタ
 - ・小中学校福祉教育支援配分事業
 - ・ランドセル購入費助成事業
 - ・福祉団体助成事業
- くまのっ子学童クラブ**
 - ・スクールロッカーの購入



10月1日から全国一斉に、「赤い羽根共同募金運動」が始まります。毎年市民の皆さまには、多大なご協力をいただき誠にありがとうございます。今年も市内スーパーでの街頭募金や、イベントでの募金等いろいろな所でご協力をお願いすると思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

くましゃんに挑戦!

マッチ棒クイズ



こんにちは! くましゃんだよ!
秋の夜長に「マッチ棒クイズ」!

もんだい 1
2本動かして
ゴミをちりとり
の外に!

もんだい 2
1本足して、
ふたをあけて!

正解者3名にステキなプレゼント!
.....
ハガキは、〒519-4324 熊野市
井戸町1150番地 熊野市社会
福祉協議会 福祉くまの係へ。
メールは、ホーム
ページの「おてがみ」
から。(どちらも9月
27日必着で!)



前号の当選者は、西忠生さん、
原田信男さん、山本まなみさん
でした。おめでとうございます。
◆前号のこたえ
もんだい1
もんだい2



ケータイで



にぎやかな花火が終わったさみしさもつかの間、少しずつ秋の気配を感じるようになりました。▼秋の気候は体に優しいですが、反して台風の時節でもあります。特集でも書きましたが、しっかり備えましょう。
▼秋といったらやっぱり食欲。しかしながら年齢的に「量」の食欲は身体によろしくなくなってきました。今年からは「質」の食欲に切り替えていこうと思います。我慢、ガマン、がまん...。(あきひと)



あとがき

熊野市の人口と高齢化率

世帯数 8,881世帯
人口 16,780人
(男7,720人/女9,060人)
65歳以上 7,222人
(男2,954人/女4,268人)
熊野市の高齢化率 43.04%
(令和元年8月1日現在)

社協の車にくましゃんステッカーを貼りました。まだ一部の車両のみですが、少しずつ増やしていく予定です。これからくましゃんが元気に町中を走り回りますので、応援よろしくお願ひします。



はしりまわります



福祉くまの NO.84
2019年9月 5日発行

編集 社会福祉法人熊野市社会福祉協議会 〒519-4324 熊野市井戸町 1150
TEL 0597-89-5000 / FAX 0597-89-3068 /
E-mail kumano@k-shakyo.com / URL http://www.k-shakyo.com/